

1. 活動報告（事務局 記）

- 8月29日（日）コロナ対応のため希望者の14名の会員が参加し、ビオトープ内・駐車場の除草、除去草の収集および焼却、資材置き場、倉庫の整理、水路内の堆積砂除去の作業を行いました。作業前には、来年度の稲作、購入した草刈り機(中古)の説明、来月の活動、特に観察隊活動日(9月18日)について話し合いました。
- 9月5日（日）コロナ対応のため希望者の14名の会員が参加し、駐車場の除草、上流部耕作放棄地の除草(観察隊活動の準備)、ため池内の除草、除去草の収集および焼却、椎茸原木置き場の整理、水路内の土砂除去作業を行いました。作業前には、ため池の横断橋の架け替え、水車のグリス注油について話し合いました。
- 9月16・17・18日原田会長が、市道及び三角田草刈りとトラクタ・自走草刈機・トップカーのエンジン機器のテスト運転を実施しました。
- 9月18日（土）親子自然観察隊の「秋の昆虫観察」はコロナ禍第5波の影響を受け中止となりました。代わって19日の活動変更にしました。
- 9月19日(日)コロナ対応のため希望者の6名の会員が参加し、ビオトープ内の草刈り、須賀河内川沿いの草刈り、蓮田の除草、除去草の収集などの作業を実施しました。
- 9月20・22・24日原田会長が、水車横～ビオ旧道入口間の市道と土手全般の草刈りを実施しました。
- 9月26日（日）コロナ対応のため希望者の11名の会員が参加し、ビオトープ内の草刈り、須賀河内川のヨシの刈り、たんぼよけじのメダカの救済(水分不足)、除去草の収集作業を行いました。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

- 10月3日（日）維持活動（草刈り・竹林整備）
- 10月16日（土）親子自然観察隊（昆虫観察・解隊式）
- 10月24日（日）維持活動（草刈り・エコアップ）

3. 来訪者の声

9月19日（日）（氏名等不明）

主人の月命日兼お彼岸の墓参り（白石墓地）を済ませ、ここまで久し振りに足を伸ばしました。年一回位秋に足を運びます。せわしい日常を忘れての癒しと俳句を作る為に寄ります。以前は水車が停まっていたのですが、最近直されて動いているので嬉しいです。心の中で、緑の森のかなたから陽気な歌が・・・と口ずさんでいます。段々ここまで来るのが（運転が）大義になって来るので、時々訪れたいと思っています。命の洗濯に！！

4. 会員の声 【彼岸墓参りにて】（原田満洲夫 記）

本日9月23日は「彼岸の中日」昔からこの日は先祖をしのび、お墓の掃除とお参りを行って来た。先祖はどんな偉い人か？篤志家か？すばらしいお墓が建立されている。バブル期ありによほどお金に余裕のあった家系とも思われる素晴らしいお墓である。しかし現在の生活は余裕が有るか無いか？墓周囲の整備が荒れて最近お参りした形跡もない。寂しい限りである。天下を支配した王族・豪族においても時の情勢により家系は絶え無縁の寂しい墓所となっている。

我が縁者 顔見せ待てり 彼岸の墓

5. ビオトープ関連：「山口県の昆虫たち」 (管 哲郎 記)

(67) アカマダラハナムグリ *Anthracophora rusticola* コガネムシ科

古い図鑑などではコガネムシ科 アカマダラコガネ *Poecilophilides rusticola* とされていましたが、山口県の昆虫目録・2018 やほかの図鑑でも珍しいハナムグリとされているので昆虫目録通りに「アカマダラハナムグリ」として記載しました。山口県ではその他の場所として山陽小野田市と山口市より記録がありました。2019年9月に筆者は宇部市車地のビオトープ内で発見いたしました。いろいろな昆虫がいるものですね。

檜の木につくクワガタムシやシロスジカミキリを捜していたのですが、コクワガタの給餌に混ざって茶色のカナブンが目につきます、クロカナブンの異常型ではないかと最初は思っていたのですが、とりあえず撮影しておき採集しました。

後日、萩博物館の椋木氏に同定していただいた結果、珍しい「アカマダラコガネ」であることが分かったのですが、「山口県の昆虫目録」通りに「アカマダラハナムグリ」として記録しました。標本は椋木氏が保管しています。



面白い色のアカマダラハナムグリ



アカマダラハナムグリ

参考文献

- 海野和男. フォールドが 身近な昆虫識別図鑑, 254pp, 誠文堂新光社, 東京.
福田晴夫他. 2005. 昆虫の図鑑 採集と標本の作り方, 236pp, (株) 南方新社, 鹿児島.
山口むしの会 (編), 2018. 山口県の昆虫目録 2018. 山口県立博物館.

6. 会よりの連絡事項

今回はありません。

7. 編集後記 （ 中本 亜矢子 記 ）

作業の日、湿地帯の土手に生えていた小さな野の花をみんなで調べました。誰も名前がわからなかったので、野草の図鑑やスマホアプリでそれぞれに検索しましたが、なかなか同定することができません。似たような花がたくさんあり、特徴がつかみにくいのです。最終的には、花の萼の数やつるの様子から、「仙人草」だろうということになりました。その後、ウィキペディアで調べてみると、仙人草はキンポウゲ科センニンソウ属に分類されるつる性の半低木とのことで、綿毛が仙人の髭に見えることから「仙人草」との和名がついたとのこと。見かけの可憐さとは裏腹に毒のある植物とのことで、別名を「ウマクワズ（馬食わず）」とも言うそうです。楽しいひと時でした。

野の花をみんなで囲んで検索し仙人草と知るも楽しき

